

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について (適切な『学校経営・運営ビジョン』となっているか。 適切な評価計画を立てて分かりやすく保護者等に提示しているか。 リーダーシップのもとに評価活動が組織的な取組みとなっているか。 教職員には評価活動が浸透し、積極的に推進できているか。)</p> <p>ビジョンや組織体制は良くできており、適正に運営されていると思う。保護者等に対して適切な評価計画が立てられており、分かりやすく提示されていると思う。組織的な取組みもなされていると思うが、教職員での取組みには積極的に推進されていない面もあるように感じる。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について (『学校経営・運営ビジョン』をもとに、評価活動が学校改善に向かっているか。 常に自己評価は全体の評価に連動し、評価活動が学校全体に展開しているか。)</p> <p>分かりやすい授業の工夫、落ち着いた雰囲気での授業の実践、生徒の悩みに対する対応等、教師と生徒との理解に温度差を感じる。</p> <p>I. 3 広報とアンケート等について (学校から、生徒、保護者や地域の人々へ情報が提供され、学校課題を発見するためのアンケート等を行って、その公開に学校は責任を持ってあたっているか。)</p> <p>責任を持ってあたっていると思う。学校のホームページを町役場のホームページにリンクできるように依頼してはどうか。</p> <p>I. 4 取組み状況全体について (学校の中に閉ざされた部分が残りに、生徒や保護者及び地域社会が困っていたりしないか。 教職員の日々の活動が教職員の仕事の見直しと改善とにつながっているか。 学校の特徴が生かされ、生徒や保護者の満足度は高くなっているか。)</p> <p>働きやすい職場や負担軽減等、日常の教職員の仕事の見直しと改善によって、生徒や保護者に対して良い結果がもたらされると思う。</p>	<p>「学校経営・運営ビジョン」については、運営委員会(学校評価委員会)で検討し、自己評価年間計画に従ってその都度自己評価を実施しながら進めてきた。年3回の学校評議員全体会でも、その時々状況について説明し、質問や意見をいただいていた。ご指摘いただいたように、教職員全員での積極的な取組みになっていない部分もあり、共通理解を図りながら改善に向けた取組みを進めたい。</p> <p>「学校経営・運営ビジョン」に基づいた保護者・生徒・教員へのアンケートを第1学期末と第2学期末の2回行った。同じ項目に対する生徒と教員の意識のズレが大きいものも多い。現状を正しく受け止め、生徒理解を深めながら、改善に向けて努力したい。</p> <p>保護者にはPTA総会を始め、各種行事で来校いただいた折に、その時々学校の状況等について紹介した。また、各種たよりや新聞、アンケート結果を配付した。浪江高校ホームページにも「学校経営・運営ビジョン」及びアンケート結果、学校生活、進路状況、学校行事写真、入試情報等を掲載し、学校紹介と情報提供を行った。学校行事等が分かりにくいという意見もあり、伝達の仕方や情報提供のあり方を工夫するとともに、地域の人々への情報提供にも努めたい。</p> <p>「学校経営・運営ビジョン」達成のための各部の年度末評価及び保護者・生徒・教員へのアンケート結果から、目標達成不十分な項目、問題点、改善すべき事項が見えてきた。改善に向けての方策を検討し、実施していくことで、生徒や保護者の満足度の高まりにつなげたい。</p>

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>II. 1 評価活動全体について (生徒や学校・地域の実態を踏まえて適切な教育目標とその実行によって、わかりやすく保護者等に学校の活動全体を提示し、目標に向かって改善が行われ、次のビジョンへ展開しているか。)</p> <p>浪高生として誇りを持ち楽しく学べる学校であるように願っている。一人一人の意識の問題であり、良好な結果が得られるよう希望を持っている。</p>	<p>自己評価計画に従って実践し、保護者・生徒・教員のアンケート結果や学校評議員の意見等を謙虚に受け止め、改善に向けての取組みを進めている。まだ不十分な部分も多く、一つ一つについて具体的な対応を検討しながら次のビジョンにつなげたい。</p>
<p>II. 2 重点事項の組織的な取組みとその改善状況について (学校の課題が明らかになり、その課題を共有し、改善に取り組んでいるか。その展開速度は適当か。改善活動は良好な結果につながったか。)</p> <p>進学・就職も順調に見えるが、非行以外での生徒減は指導をお願いしたい。生徒と先生とのコミュニケーションがとれている。進学クラスを設けて進学率を上げて知名度を上げれば、入学者の選択肢も広がり、学力向上につながるのではないかと。部活動の活性化により、「学校経営・運営ビジョン」の教育目標が達成できると思う。校内での対人マナーは大変良いと思うが、校外での自転車の二人乗りが時々目につくのはちょっと残念である。数年前の生徒達と比べると大変良くなってきているのが分かり、明らかに改善されたことが見えている。</p>	<p>「分かりやすい授業」「落ち着いた雰囲気での授業」「研究授業の実践」「悩みや不安などの相談」「遅刻者の減少」「資格取得の推進」「部活動の活性化」「2年次からのクラス編成」等々、課題が多く指摘されている。各部を中心に改善に向けた取組みを進めており、来年度の「学校経営・運営ビジョン」につなげて改善への努力を継続したい。</p>
<p>III その他</p> <p>III. 1 地域社会との連携についての更なる活動への展開へのアドバイス</p> <p>インターンシップの取組み等で浪高生が地域に出て学ぶ姿は、大変良いことと思う。町作り会社や商工会とお互いに協力できることを相談・話し合ってみてはどうか。ボランティア活動等で地域との触れ合いもなされているが、一般市民と一体になった花壇の整備等の活動をなされてはと思う。</p>	<p>今後もインターンシップや進路講演会等、浪江ロータリークラブや商工会の協力をいただきながら進めていく。地域への情報発信や情報提供、地域との交流は、まだ一部にとどまっている感がある。地域社会と一体となったボランティア活動等についても、情報交換しながら検討していく。</p>
<p>III. 2 開かれた学校づくりについての更なる活動への展開へのアドバイス</p> <p>様々な制約のあることは理解しているが、地域に開かれた学校として生徒と一緒に学ぶことは出来ないか。特技を持った先輩や一般の指導者等に協力を求めているかどうか。</p>	<p>地域社会との連携、ホームページでの浪高紹介・情報提供を工夫するとともに、来年度は公開文化祭「青浪祭」等もあり、より開かれた学校を目指す。</p>
<p>III. 3 その他</p> <p>浪江町有志の方々と相馬野馬追祭の開催の時、浪高生が雲雀ヶ原と町中央公園で見事な相馬流れ山の踊りを披露されたことは大変素晴らしいことである。恵まれた環境の中で学ぶことが出来、生徒達は素直で明るく気持ちの良い挨拶が交わされている。本校は就職・進学への教育を担っており対応が難しいと思うが、「学ぶ喜び」が得られるよう教師間の連携を密にし、生徒から信頼される意欲ある教師像を望む。各クラスが担任・副担任の制度を生かし、生徒が抱えている問題等に親身に接することは出来ないか。生徒は、話すこと・自分を表現することで学校生活が楽しくなるのではと思う。</p>	<p>2回の保護者・生徒・教員へのアンケートの実施によって、いろいろな課題が見えてきた。現状をよく把握し、改善に向けて適切に対応していく。生徒と教師、保護者と教師、教師間の連携を密にし、一人一人の生徒を大切にして、課題の理解・改善の推進に組織を上げて取り組む。</p>